



☆ 春本番

春本番の季節がやってきました。桜は散り始めてしまいましたが、他の花々が次々に咲きだし、木々の緑も徐々に色濃くなってきて、楽しい季節です。そこで、今回は、楽しい春の絵本を集めてみました。どれも外に出たくなってくる絵本ばかりです。春を探しに行ってみませんか。

今年の1月、2月と続けて、ジョン・バーニンガムさんと上野紀子さんが亡くなりました。お二人ともたくさんの楽しい絵本を作ってくれました。そこで、お二人を追悼して、1冊ずつですが、絵本を選んでみました。どちらも楽しい絵本です。楽しんでみてください。



花満開



絵本・あそぼう! はなのこたち

エリザベス・イワノフスキー作、ふしみみさを訳、岩波書店

ヒルガオの子はコマ遊び、アザミとヒナゲシの子は竹馬、サクラソウとキンポウゲの子はシーソー。春の野では、草に隠れているいろいろな花の子たちが遊んでいますよ。戦争中のベルギーで生まれた絵本。色鮮やかで、かわいらしい草花たちの世界を楽しんでみてください。シリーズでどうぞ。

絵本・うえきやのくまさん

フィービとジョン・ウォージンソン作・絵、まさきりこ訳、福音館書店

あるところに植木屋のくまさんがいました。ある朝、くまさんはお隣の庭の手入れに行きました。垣根を刈り込み、芝刈りをして、家に帰ります。

ぬいぐるみのくまさんが活躍するシリーズの一冊。簡潔な文章と細かく描きこまれた絵で、可愛いくまさんの楽しい一日を描いた絵本です。

絵本・ホラ すてきなお庭でしょう

ピーター・スピア:イラスト、わしづなつえ訳、瑞雲舎

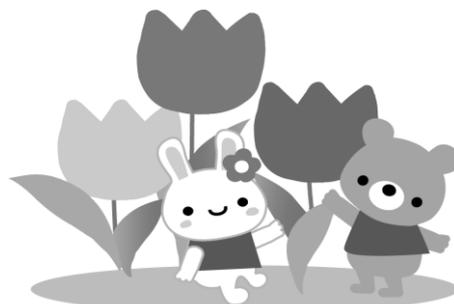
“お庭は どんなでしょう?
銀のベルと かいがらで
ホラ すてきな お庭でしょう”

イギリスのわらべ歌、マザーグースに精緻で美しい絵を付けた絵本です。横長の見開きいっぱい、細部まで描きこまれた絵は美しく、楽しい歌の世界が広がります。

絵本・がっこう

ジョン・バーニンガム作、谷川俊太郎訳、富山房

“学校”ってどんなところ? 学校へ行くと、読み書きを習ったり、給食を食べたり、友達を作ったり。楽しいところ。子どもの目から見た“学校”を、分かりやすい簡潔な文章で、淡々と描いた作品。もう新学期が始まってしまいましたが、入学前のお子さんに読んであげたい絵本です。



絵本・ねずみくんのチョッキ

なかえよしを作、上野紀子絵、ポプラ社

ねずみくんは、お母さんに赤いチョッキを編んでもらいます。そのチョッキを着ていると、そこへ友達の動物たちがやって来て、“ちょっと着せてよ”と着ていきます。するとチョッキはどんどん伸びていき……。

大人気シリーズの1冊目。ねずみくん始め、登場する動物たちの表情も豊かな、楽しい絵本です。



☆ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください!

次回は
時間
場所

5月18日(土)・6月15日(土)
午後3:00~3:30
西部図書館 お話し会のへや





☆ 雨の日だって

とうとう雨の季節になってきました。しとしと、ジメジメで毎日大変ですが、雨だからといって、嫌なことばかりではありません。たまには、濡れても構わないような服装をして、雨の中のお散歩などいかがですか。お気に入りの傘があれば、もっと楽しくなること請け合いです。そこで、今回は、雨の日でもお出かけしたくなるような本を集めてみました。本の中の世界のようにお散歩を楽しんでみてください。



雨の日の散歩



絵本・かたつむりタクシー たむらしげる作。福音館書店

虫の親子が、かたつむりのタクシーに乗って、おばあちゃんの家までお出かけします。山を越え、水の中を通過して、ジューススタンドで一休み。おばあちゃんの家へ到着します。

会話のみでお話が進んでいく絵本。色鉛筆の、柔らかい色彩の絵は、細かいところまで描き込まれていて、見たくなりますよ。

絵本・ちいさなきいろいかさ もりひさしシナリオ。にしまきかやこイラスト。 金の星社

なっちゃんは、お母さんに買ってもらった小さな黄色い傘をさして、お散歩に出かけます。雨の中歩いていると、動物たちがやって来て……。

お母さんに買ってもらった大好きな傘は、動物たちが入ってくるたびに形が変わる不思議な傘です。それと同時に、こどもたちの空想の世界も広がってくれる傘です。

絵本・ガンピーさんのドライブ ジョン・バーニンガム作。光吉夏弥訳。ほるぷ出版

ある日、ガンピーさんはドライブに出かけます。途中で子どもたちに、ウサギ、ネコ、イヌ、……と一緒に乗り込んできて……。

野原を突っ切って、山道を登って、楽しそうに走っていくガンピーさんの車。やさしいタッチの絵とともに、ドライブに出かけてみませんか。

絵本・かめくんのさんぽ なかのひろたか作・絵。福音館書店

今日はぼかぼかいい天気。そこで、かめくんは散歩に出かけます。途中、わにくん、かぼくん、ぞうくんに会って、散歩に誘いますが、みんな、“今はお昼寝。散歩は後で。”と断ってきて……。

人気の“ぞうくんのさんぽ”シリーズの最新作。今回はかめくんがお散歩です。かめくんならではののんびりした散歩をお楽しみください。



絵本・ふたいはきょうも アーノルド・ローベル作。三木卓訳。文化出版局

散らかった部屋を見て憂鬱になったガマガエルのがまくんは、かえるくんにそのことを言われ、“なにもかも みんな あした する!”と答えます。そこで考えたがまくんは……。他、仲良しのがまくんとかえるくんが大活躍するお話が5つ入った絵本。2匹のやり取りも楽しいお話集です。



☆ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください!

次回は
時間 7月20日(土)、8月17日(土)
午後3:00~3:30
場所 西部図書館 お話し会のへや





みみずく通信

No.98

2019.7.20

発行：すばなしの会みみずく

HP：<https://subanashi.ml/>

☆ ふしぎがいっぱい

夏休みになりました。海に山に、楽しいことはたくさんあります。そればかりではありません。身近なところにもたくさんの楽しいことはあります。地面を見ても、空を見ても不思議はいっぱい隠れています。そこで、今回は、身近な物から大きな空想の世界に飛べるような本を集めてみました。絵本と一緒に楽しんでみてください。



さあ、夏です！



絵本・どしゃぶり

おーなり由子文、はたこうろう絵、講談社

とても暑い日、真っ黒な雲がこちらに来たと思ったら、ぽつっ、ぽつっ。雨！空のにおい、土のにおい、傘の太鼓。空から、地面からいろんな音がして、まるで雨が歌っているみたい。

雨のいろいろな音を集めたような絵本。雨と遊んでいるような男の子の表情も楽しげですよ。

絵本・すいかのプール

アンニョン・タル作、斎藤真理子訳、岩波書店

真夏のお日様が照り付けて、すいかがすっかり熟したら、すいかのプールのプール開きです。浮き輪を持って、早速出かけましょう。葉っぱのジャンプ台から飛び込んだり、すいかのジュースを集めたり……。

見開き大画面を最大にいかした絵本。すいかのプールに入れたら、きっと楽しいでしょうね。

絵本・エミールくんがんばる

トミー・ウンゲラー作、今江祥智訳、文化出版局

ある日、サメに襲われたサモファ船長を助けたタコのエミールは、そのお礼として、船長と一緒に暮らすことに。楽器を演奏したり、海水浴の見張り番をしたり、密輸船を捕まえたりと、大活躍のエミールでしたけれども……。

分かりやすい文章と、簡略化された絵の楽しい絵本です。

絵本・だいくとおにろく

松居直再話、赤羽末吉画、福音館書店

何度橋をかけても流されてしまうほど流れの急な川に、橋かけを頼まれた大工が、川を見に行くと、川から鬼が出てきて、大工の目玉と引き換えに、橋かけをしてやると言ってきますが……。

横長の画面を活かした、絵巻物のような絵は、表情が豊かで、お芝居を見ているようです。鬼と大工の楽しい昔話絵本です。



絵本・おーい、こちら灯台

ソフィー・フラッコール作、山口文生訳、評論社

世界の最果て、ちっちゃな島のてっぺんに立つ灯台に、新しい灯台守がやってきました。灯台守は、レンズを磨き、油を継ぎ足し、ランプの芯を切りそろえ、ゼンマイをまき、船の安全を見守ります。

かつての灯台の日常を詩情豊かに描いた絵本。機械仕掛けの、真新しい灯りのともった灯台から去る時の、灯台守の表情も誇らしげですよ。



次回は

8月 17日、 9月 21日、
10月 19日

時間
場所

午後 3:00 ~ 3:30
西部図書館 お話し会のへや



☆ まだまだ、あります。こんな本。ちょっと勉強編。



科学絵本・かげはどこ

木坂涼文、辻恵子絵、福音館書店

ぼくと影はいつも一緒。でも、影は、ときどきあつちに言ったり、ゆらゆらしたり、かっくんでなったり、びよーんて伸びたり、いなくなったり。小さな子どもの一番身近にあつて、素朴な疑問を持つ自分の影。その影に、子どもの好奇心を向けさせるような絵本。切り絵の絵もかわいらしいですよ。

科学絵本・たねのはなし

～かしこくておしゃれてふしぎな、ちいさないのち～
ダイアナ・アストン文、シルビア・ロング絵、千葉茂樹訳、ほるぷ出版

種は眠っています。土の下でうとうとと静かに。種は恥ずかしがり屋です。いろいろな物をまわって、なかなか姿を見せてくれません。どんなに大きな木だって、もとは指先に乗るほど小さな、小さな種でした。そんな不思議がいっぱい詰まった小さな種について、分かりやすい文章と、精緻で、美しい絵で解説した知識絵本です。

科学絵本・ひまわり

和歌山静子作、福音館書店

地面の上にな一粒の小さな種がとん。その種は、太陽の光をいっぱい浴び、雨の潤いを受け、風にも負けず、どんどこ、どんどこ大きくなっていき……。

縦開きの画面いっぱい描かれた絵はダイナミックで、“どんどこ どんどこ”と繰り返される言葉と併せて、子どもの心を引きつけます。

科学絵本・くもとそらのえほん

五十嵐美和子作・絵、武田康男監修、PHP研究所

土砂降りの雨を降らせたり、雷を起こす入道雲、綿のようにふわふわな綿雲。飛行機が通った後にできる飛行機雲。いろいろな雲があります。この本は、そんな雲について、精緻な絵と、簡潔で分かりやすい文章で解説した絵本です。今日の空の雲は、どんな雲でしょう。この本を片手に、調べてみてはいかがですか？



科学絵本・きょうりゅうのかいかた

くさのだいすけ文、やぶうちまさひ絵、岩波書店

動物好きの兄弟‘まさど’と‘めぐみ’は、ある日、恐竜の子どもを飼うこととなります。二人は、恐竜に‘どん’と名前を付けて、家を作ったり、トイレを作ったり、いろんな人に手伝ってもらっても、恐竜の世話は大変です。実際にはありえなくても、本当に恐竜を飼えたら、とても楽しいでしょうね。



★ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来て下さい。



次回は 8月 17日、 9月 21日、
10月 19日
時間 午後 3:00 ~ 3:30
場所 西部図書館 お話し会のへや



☆ 秋本番！

急に寒くなってきて、そろそろ秋本番といった感じになってきました。まだまだ紅葉には早いですが、徐々に木々も色づき始め、景色を眺めながらのお散歩も楽しい季節になりました。そこで、今回は、秋を感じる絵本をそろえてみました。最近ではだいぶ定着してきたハロウィーンの本もありますので、絵本の中でも秋を感じてみてください。



お散歩、お散歩



絵本・パンフキン・ムーンシャイン

ターシャ・テューダー作、なにとりえこ訳、KADOKAWA

小さな女の子シルヴィー・アンは、ハロウィーンのかぼちゃちょうちんを作るために、丘の上の畑へ一番立派なかぼちゃを探しに行きます。ところが、かぼちゃは重くて持てません。そこで、雪だるまを作る要領で転がして帰ることにしますが……。

コネティカットの農村を背景に、小さな女の子が大活躍する絵本です。

絵本・おぼけのコンサート

たむらしげる作、福音館書店

古い家に住んでいる小さなおぼけは、ハーモニカが得意。いつものように吹いていると、森の木のおぼけ、水のおぼけ、…といろいろなおぼけが楽器を持って集まって来て……。最後には、家のおぼけまで踊りだす、楽しい、楽しいコンサート。鳴らされる楽器の音も面白いですよ。

絵本・とりかえっこ

さとうわきこ作、二俣英五郎絵、ポプラ社

森の中に住むひよこは、ある日、“遊びに行ってくるよ。”と言って出かけていきます。ねずみに会ったひよこは、鳴き声を取り換えることに。そして、ぶた、かえる、いぬ、…と会う動物ごとに鳴き声を取り換えていき……。家に着いた時の声は何だったでしょう。繰り返しのたのしい絵本。画面の隅にちょっとした仕掛けもありますよ。



絵本・もりのかくれんぼう

末吉暁子作、林明子絵、偕成社

公園で遊んだ帰り道、けいこがもぐりこんだ垣根の向こうは、見たことのない森でした。そこで出会ったのは、小枝のように細い男の子、もりのかくれんぼう。二人は、森の動物たちとかくれんぼをして遊ぶことにしますが……。

森の中にはいろいろな動物が隠れていますよ。探してみてくださいね。

絵本・やまこえ のこえ かわこえて

こいでやすこ作、福音館書店

満月の夜遅く、山越え野越え川越えて、きつねのきっこは町まで油揚げを買いに出かけます。お月さま、ふくろう、いたちも一緒です。買い物をした帰り道、“こわいぞ～ こわいぞ～”と誰かが後をつけてきて……。

リズムカルな文章の楽しい絵本。みんなと守って持ち帰った油揚げは、おいしいいなりずしになりますよ。

☆ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！



次回は
時間
場所

11月16日(土)、12月21日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや





☆ もう少しだけ、ネズミさんの本。
まずは、クリスマス編、続き。



絵本・ **グロースターの仕立て屋**
ピアトリクス・ポター作・絵、石井桃子訳。
福音館書店

クリスマス前のある日、貧しい仕立て屋が市長の婚礼衣装を作り始めます。すっかり準備は整って、あとは縫うばかり。ただ、足りないのは紅色の穴糸が一かせだけ。ところが、仕立て屋は病気になってしまい……。

大人気のピーター・ラビット・シリーズの一冊。繊細で美しい絵と、詩的な文章で、クリスマスの奇跡を語ります。



絵本・ **アンジェリーナのクリスマス**
キャサリン・ホラバード文、ヘレン・クレイグ絵。
おかだよしえ訳、講談社

もうすぐクリスマスです。ネズミの女の子アンジェリーナもクリスマスを心待ちにしています。ある日、学校の帰りにアンジェリーナはとても寂しそうにしているおじいさんを見かけ、あることを思いつきます。

可愛いネズミの女の子が活躍する絵本。うれしいプレゼントが待っていますよ。



来年の干支は、子(ねずみ)



絵本・ **ねずみのいえさがし**
ヘレン・ピアス作、松岡享子訳、童話屋

‘ねずみが、いえを さがしています。’
寒くもなく、暑くもなく、広すぎもせず、狭すぎもしない、そんな家はなかなか見つかりません。一生懸命探してやっと見つけた家は……。

ピンクのシッポと耳の可愛いネズミを主人公にした写真絵本。『ねずみのともだちさがし』『よかったねねずみさん』も一緒にどうぞ。

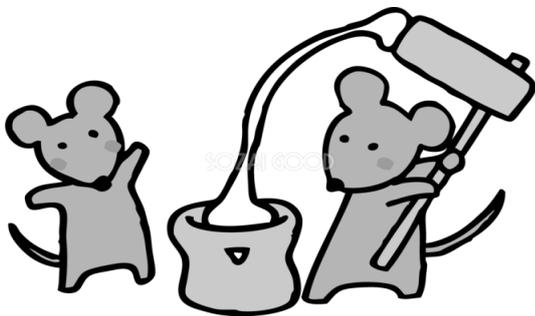
絵本・ **とうさんおはなしして**
アーノルド・ローベル作、三木卓訳、文化出版局

ベッドに入った七匹の子ネズミたちに、父さんネズミはお話します。一人に一つずつ、全部で七つのお話は、どれも短くて、ナンセンスだったり、ウィットに富んでいたり色とりどりです。茶とグレーと紫だけの小さな挿絵は、物語の魅力を引き立たせます。お話が終わったら、子ネズミたちと一緒に、お休みなさい。

絵本・ **フレデリック**
~ちょっとかわったねずみのはなし~
レオ・レオニ作、谷川俊太郎訳、好学社

冬が近づいてきて、野ネズミたちは食糧集めに大忙しです。けれども、フレデリックだけは、じっと座って、光や色や言葉を集めていて働こうとしません。ところが、冬が深まって来た時、みんなを救ったのは……。

美しいコラージュ(はり絵)の絵本。ちょっと変わった野ネズミのお話です。



★ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいお話を聞きに来て下さい。

次回は **2020年 1月 18日、 2月 15日、**
時間 **午後 3:00 ~ 3:30**
場所 **西部図書館 お話し会のへや**



☆ 春は名のみ

立春を過ぎて、名前だけは春になりましたが、まだまだ寒い日が続いています。そこで、今回は、もう少し冬を楽しむ絵本をご紹介します。今年は雪らしい雪を見ていませんが、絵本の中だけでも雪を楽しんでみてください。



雪が降って来たよ



絵本・ねずみのおいしゃさま

なかがわまさふみ作、やまわきゆりこ絵、福音館書店

ある大雪の夜、ねずみのおいしゃさまが寝ていると電話がかかってくる。りすの坊やが風邪をひいて熱があるとのこと。そこで、ねずみのおいしゃさまは、すぐにスクーターに飛び乗り、出かけていきますが……。

なんとも暢気なねずみのおいしゃさまのお話。外は大雪でも、暖かな気持ちにしてくれますよ。

絵本・しろいゆき あかるいゆき

アルビン・トレッセルト作、ロジャー・テュボアザン絵、えくにかおり訳、BL出版

郵便屋さんも、お百姓さんも、みんな空を見上げています。雪が降りそうです。そして、最初のひとひらが落ちてきて、空は雪でいっぱいになります。雪はどんどん降ってきて、白く変わった町は、夜になり街灯に照らされてキラキラと輝きます。

一編の詩から始まる絵本。静かで詩のような文章と、色味を抑えた絵が美しい絵本です。

科学絵本・雪の結晶ノート

マーク・カッシーノ、ジョン・ネルソン作、千葉茂樹訳、あすなろ書房

始まりはある冬の日。高いところにある寒い雲の中で雪の物語が始まります。雲の中にある小さな‘ちり’が芯となり、水蒸気がくっついて雪の結晶が出来上がります。

いろいろな形の雪の結晶。そのでき方、特徴や観察方法を教えてくれる本です。雪の降った日、お子さんと一緒にお試してください。

絵本・ねずみくんとゆきだるま

なかえよしを作、上野紀子絵、ポプラ社

雪が降ってきて、ねずみくんは大喜びです。雪合戦をしたり、雪だるまを作ったり、ねみちゃんとソリで遊んだり。そして、うさぎくんがスキーを貸してくれますが……。

大人気のねずみくんシリーズの一冊。赤いチョコキのねずみくん、今回は白いマフラーで雪の中大活躍ですよ。シリーズでどうぞ。



絵本・おふろだいすき

松岡享子作、林明子絵、福音館書店

まこちゃんが、あひるのプッカとお風呂に入ると体を洗っていると、突然、お湯の中から大きなカメが現れます。続いて、ペンギン、オットセイ、カバとやって来て……。

子どもの空想の世界をのびのびと描いた絵本。やさしく、柔らかな絵が、湯気につつまれているような、ふんわりと暖かな雰囲気盛り上げられます。

☆ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

3月21日(土)、4月18日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや

